

平成23年度「等々力緑地釣池浄化に向けた調査・測量・設計業務委託」報告書抜粋

2) 調査結果

調査した範囲を集計すると、釣池の水面の面積は約3.0ha (29,662 m²) である。水深が最も深い箇所は栈橋直下であり、約3m程度であるが、そのほかの箇所では水深1~2mと比較的浅い。特に縁辺部は数10cm程度である。現在の釣栈橋の辺りが最も深く、こうした箇所では釣客が多いものの、池の周縁部は比較的浅いので、釣には向かない地形であると考えられる。

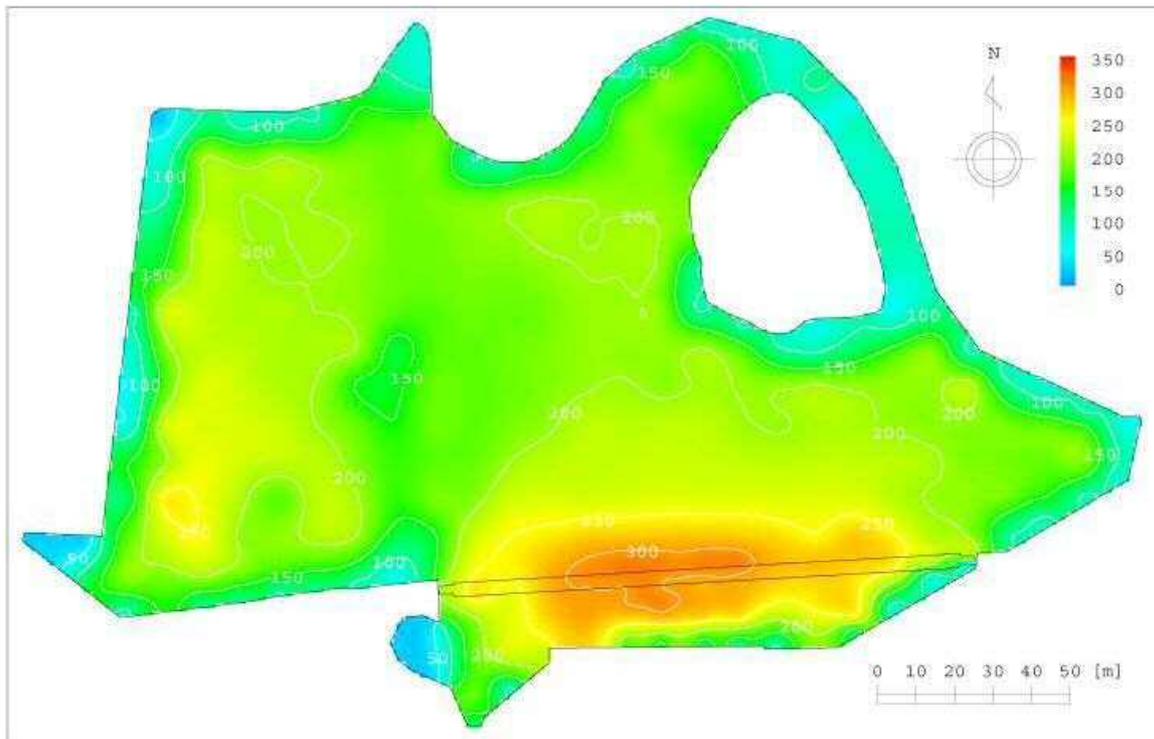


図 3.3 釣池の水深分布 (cm)

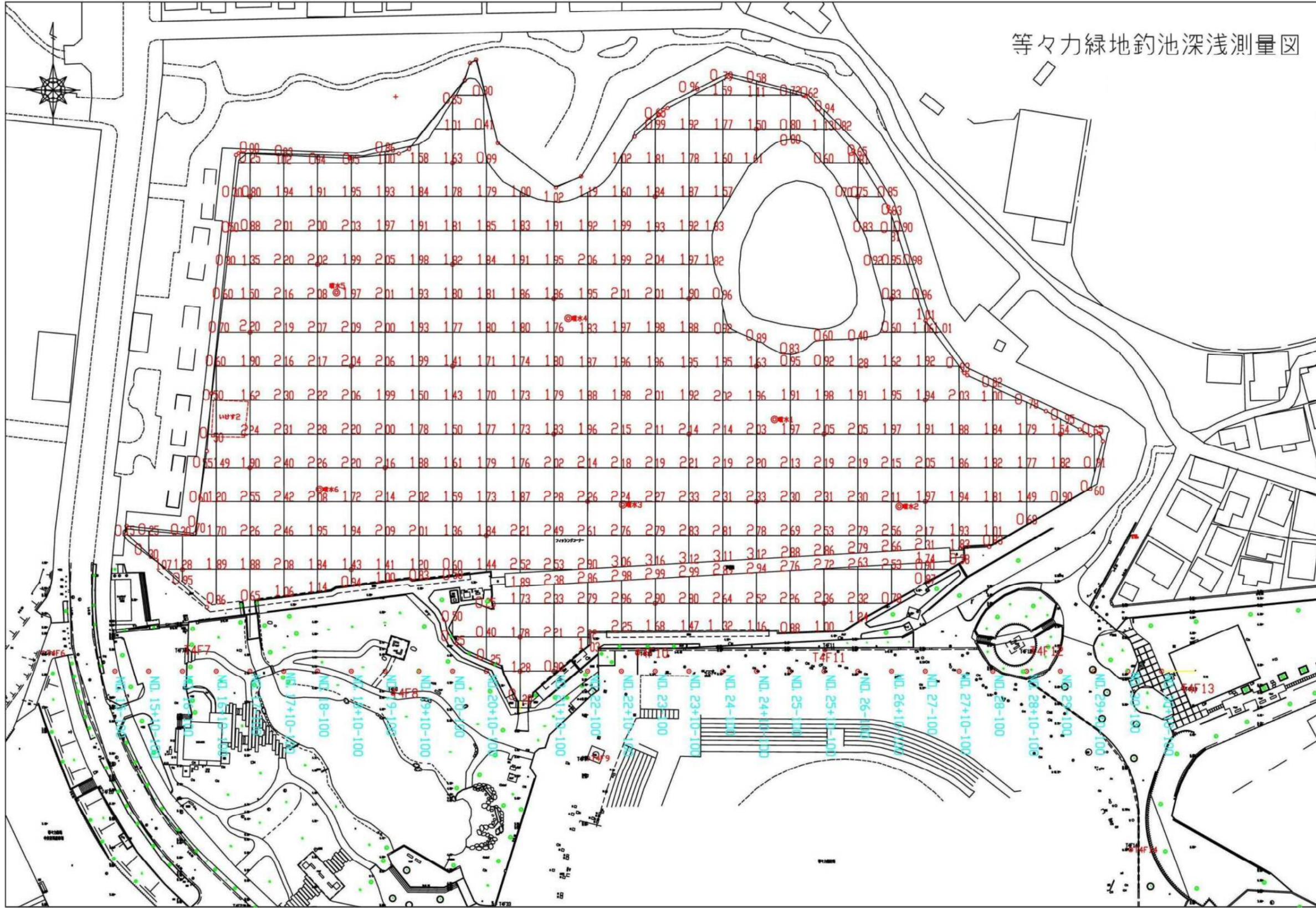


図 3.4 深浅測量による水深（水面基準：m）

3.2 堆積物厚調査

1) 測量方法

実施時期：夏季 9月5日(月)～9月6日(火)

測量項目：堆積物厚

測量地点：深浅測量 平成18年度底泥調査地点を参考に、10mメッシュ上の深浅測量箇所のうち30箇所で計測

測線は平成22年度等々力緑地測量業務に合わせて設定

後の調査で利用できるように、測線の起点の座標を記録

測量方法：測量用ボートを搬入し、音響測量を実施

状況に応じて釣池管理ボートを借用

栈橋付近の調査時には酸素供給装置を停止

2) 調査結果

底質調査結果から推定した、泥分などの堆積物量は11,227.m³である。調査結果を見ると、釣栈橋の北側中央付近、西側の一部、島の北部で比較的多い。一方、池の中央部や島の東側では堆積物が少なくなっている。

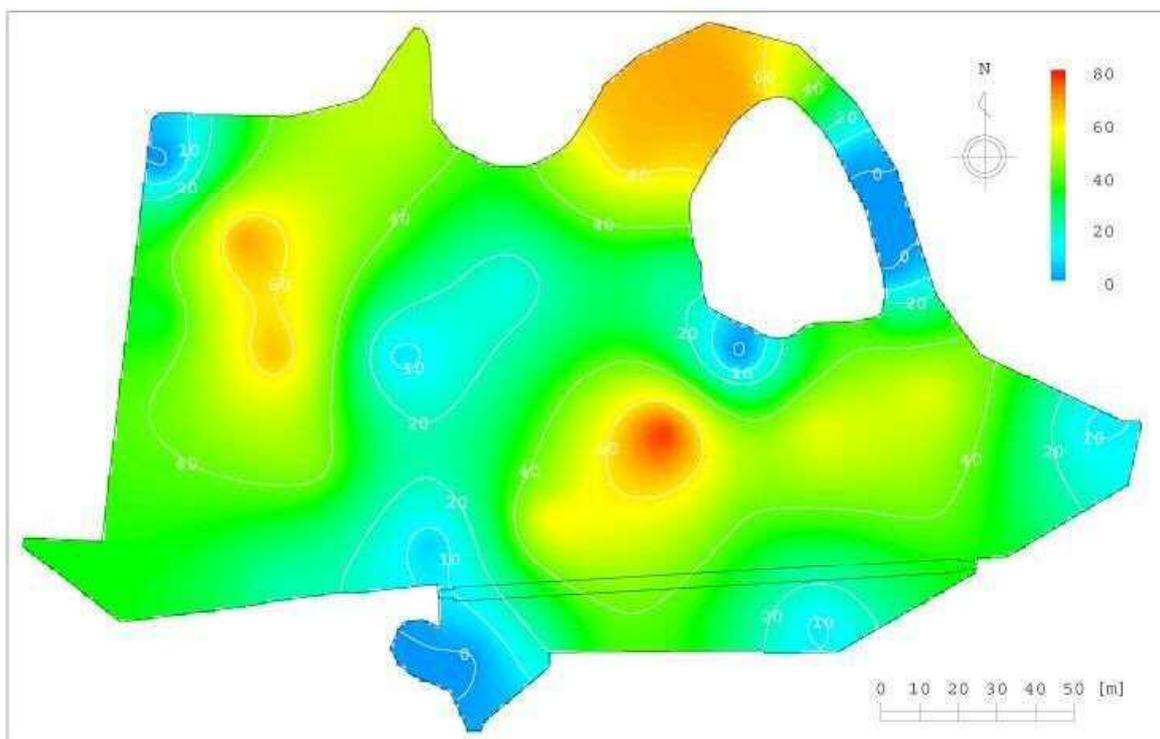


図 3.5 深浅測量による堆積物厚さ (cm)

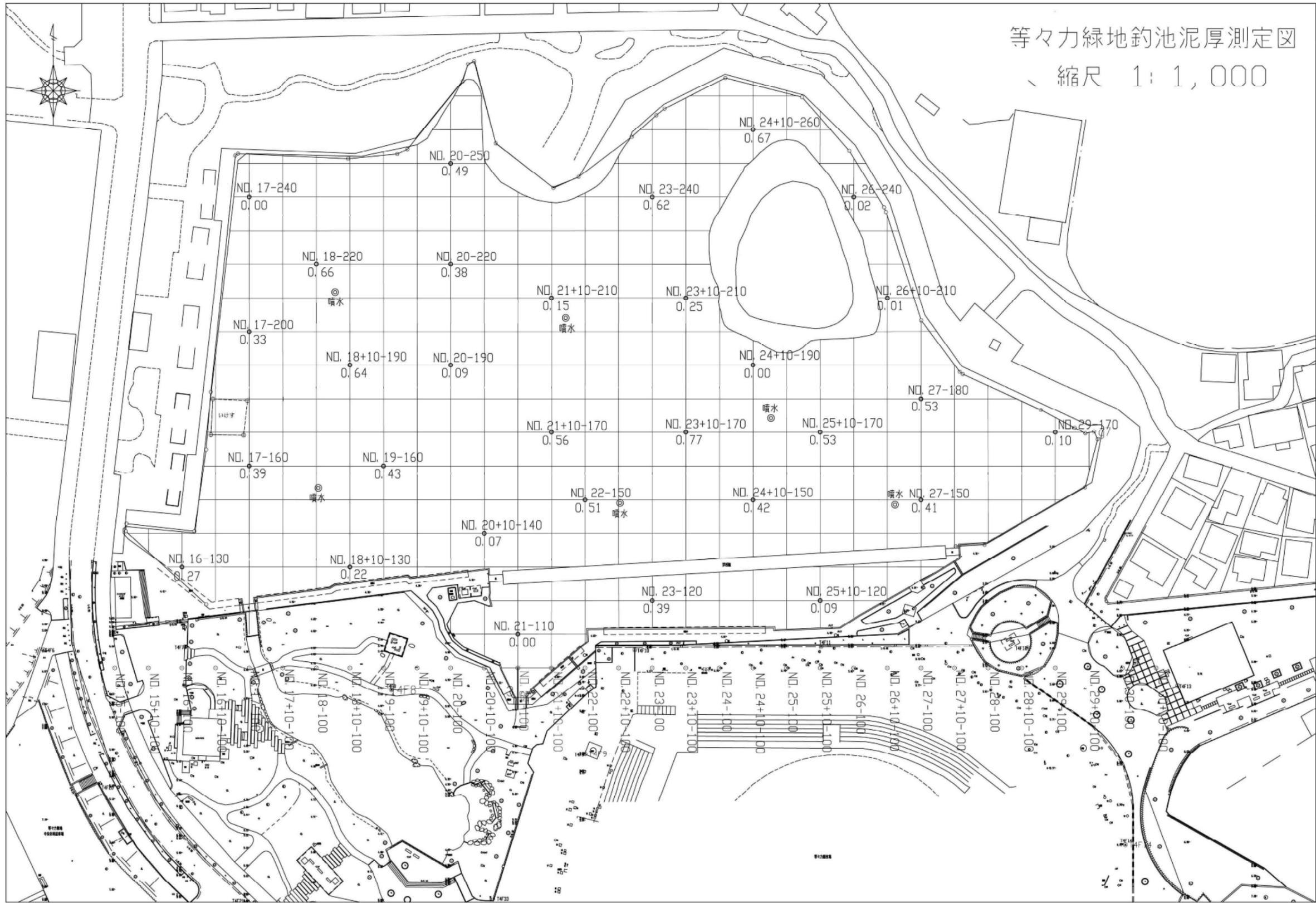
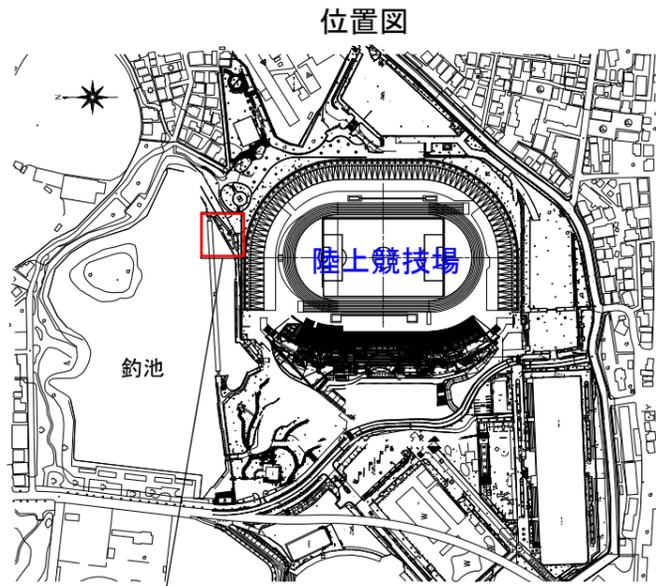
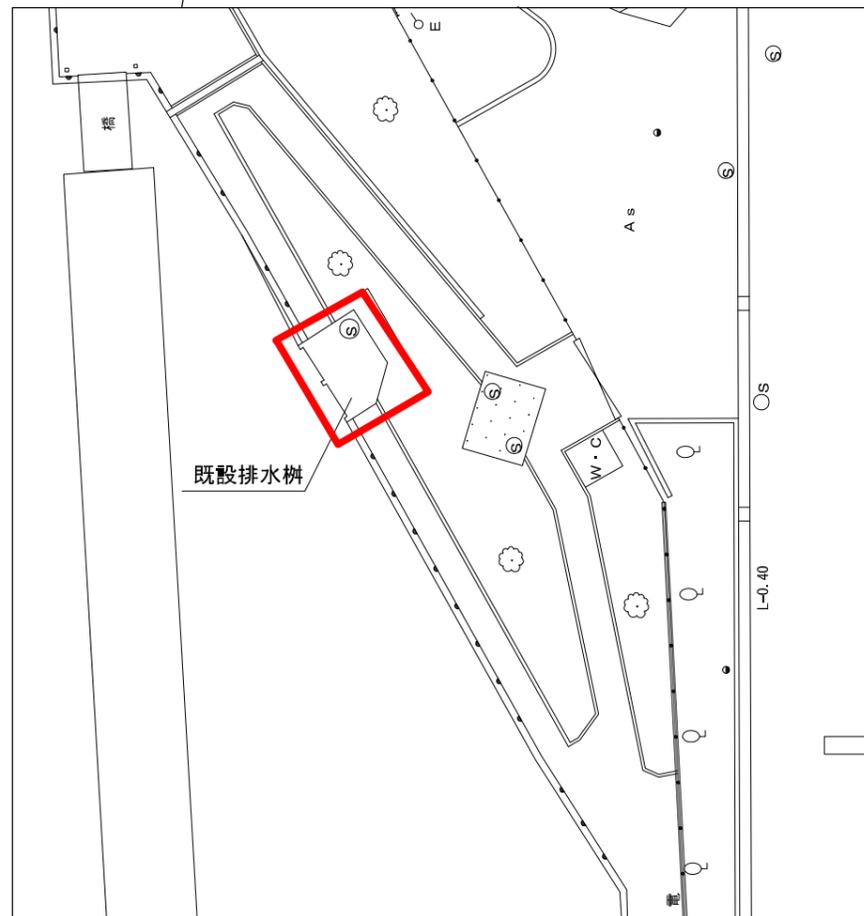


図 3.7 堆積物厚実測値 (m)



拡大図



排水例

